

豊野地区住民自治協議会だより

第 36 号

平成 28 年 2 月 1 日 発行者: 豊野地区住民自治協議会

事務局(豊野支所内) TEL 217-6638 FAX 257-4776 メール: toyono@valley.ne.jp

『人権をみつめあう住民のつどい・社会を明るくする運動』開催



平成 27 年 12 月 6 日(日)恒例の第 11 回豊野地区「人権をみつめあう住民のつどい・社会を明るくする運動」のつどいが、住民自治協議会人権教育部会主催で、町内多くの協力組織、団体の協賛を得て、また、大勢の町民の皆さんのご参加を頂き、来賓祝辞を頂いた後、このつどいの趣旨に則り開催されました。

内容は、今、現代社会の大きな問題の一つになっている特殊詐欺啓発運動として長野中央警察生活安全課による指人形劇で詐欺事件に遭わないよう注意啓発して下さいました。

続いて、東小学校児童・PTAの皆さんにより、人権学習の一環として、いじめや差別のない学校生活を楽しくのびのびと送れるよう創意工夫され、仲よくゲーム等を通し融和を図っている様子を発表して下さいました。

最後に講演となり、講師は豊野町蟹沢ご出身で若槻地区住民自治協議会長・保護司・僧職でもあります土屋良和先生をお招きし「罪を憎むも 一心の田圃を耕す」を演題として講演をして頂きました。

先生は、保護司のお立場から家庭内の「児童虐待」・学校における「暴力行為」・自殺者の状況、高齢者の犯罪等を新聞紙上の事例を挙げ、現代社会は厳しい社会状況に向かいつつあることを懸念されており、「ただ一人信じるものを幼子はママと呼ぶ」——心痛むお話です。

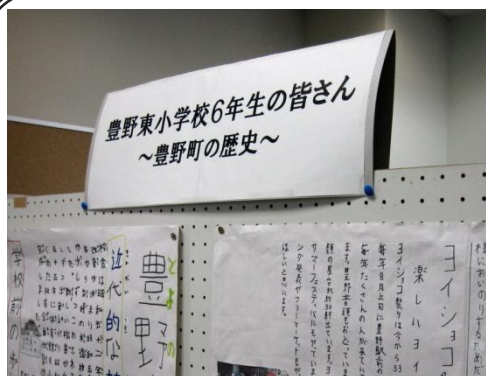
この世のものはすべて平等に光り輝き、どんな境涯にあっても一人の人間として尊ばれなければならず「盗みせず人殺さずを善として、我に罪なしと思うはかなさ」・「今、汝が踏みし花がいぬふぐり」——人は知らずして他人を善し悪しと評価し、無意識のうちに人権を無視し踏んでいる。

人権の物差しは、「あなたは、目の前の人をどれだけ大事にしているかを素直に受け止め、自分に問いただしていく」ことが大切であるとのこと。

今、一人の人間として「生」あることに、親に、家族に、ご先祖に、目の前の人に、地域社会ふるさとに感謝の心を醸成し、心通う地域づくりが、現代社会が、いま求められていることではないかとの講演でした。

講演の終わりに、土屋先生のアコーディオンの伴奏で参加者全員が〔ふるさと〕を合唱し、人権を尊重する意義をそれぞれが再確認できたすばらしい「つどい」でした。この度のつどいに、ご協力くださった関係諸団体、参加された皆さんに感謝申し上げてつどい感想文とさせていただきます。(保護司/須田純皓)

みどころニュース



豊野支所正面玄関入って左手に、豊野東小学校6年生が制作した「豊野町の研究」が展示されています。歴史・名産・産業・自然に関する記事が、大変わかりやすく、工夫されて書かれている力作です。

頭をよせ合って一生懸命作っている様子が目に浮かびます。(展示は2月末頃まで)



部会活動の紹介 < 青少年育成部会 >

蟹沢地区子ども育成会



昨年11月14日(土)陶芸教室を開催しました。終了後、「おやつ」として役員さん手作りの焼き芋を全員で食べました。参加してくれた竹ノ内君が、その時の感想文を書いてくれたので、ここで紹介します。

楽しかった どうげい教室

豊野東小学校2年 竹ノ内 康平

どうげい教室で2さらのおさらを作ったけど、すごくむずかしかったです。それで、さいよは、「でんじやらすじーさん」の絵をかこうとしたけど、むずかしかったのでやめました。それで、りんごと3この丸の絵をかきました。手がよごれまくって、おもしろかったです。それで、少し友だちと話して、すごくおもしろかったです。

一番さいごに、でかくて長いやきいもを食べて、おならをいっぱいして、おもしろかったと思いました。また来年も行つて、おさらをいっぱい作りたかったです。こんど来年行ったら、ゆのみとおさらも作りたいです。あと、おさらを4まいくらいとゆのみを3こくらい、ぜったいに作りたかったです。あと、つぎにもやきいもをいっぱい。やきいもがあったら、2本くらい食べたいです。あと、おさらでちがう絵をかきたいです。

浅野地区子ども育成会

平成27年7月12日(日)、当会主催の恒例行事「ニジマスつかみ取り大会」を開催しました。当日は、天候にも恵まれ、子供たちの大きな声が飛び交うイベントとなりました。

小学校5~6年の子供たちは、低学年の子供たちが捕まえてきたニジマスを塩焼きに出来るようさばいてくれます。魚をさばくのは初めての子供たちがほとんどで、悪戦苦闘しながら、良い経験になったと思っています。私たちが生きていく為に、多くの命をいただいているんだということをお子たちに、少しでも感じてもらえたかなと思います。

「ニジマスつかみ大会」自体は、私が子供の頃から行われていう行事で、そんな行事を運営する側になるとは、感慨深く、今後も継続していければと改めて感じました。



高学年による魚さばき体験 → 塩焼きに

豊野北地区子ども育成会



豊野北地区子ども育成会では、7月26日(日)、豊野区事務所にて「お楽しみ会」を開催しました。トウモロコシの皮むき競争をし、ビンゴゲーム大会、スイカ割大会を行いました。お昼は流しそうめんや、バーベキュー、茹でたトウモロコシ、スイカを食しました。子ども達に一番人気は、割り箸に刺して、バーベキューの炭で自分で焼く「焼きマッシュマロ」。低学年から高学年まで大いに盛り上がり、交流を深めることができました。